

科目名	施設見学2							年度	2026
英語科目名	Visit to institution 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大、有山敦士		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)	

【科目の目的】
 様々な施設を訪問し社会人としての見聞を広めます。

【科目の概要】
 学内外の施設を活用して知識を蓄え、様々な行事を経験して医療人として活躍するための素地をつくります。

【到達目標】
 医療従事者の対象が常に患者であることと、その患者の健康を願うという目的を持つ特殊性から、患者に関する倫理の原則はどの職種においてもほぼ同じであり、患者に対してどのようにあるべきかということ医療を志す学生は学ぶ必要がある。患者を守り、患者を傷つけず、医療従事者の使命を全うするための知識の一つとして社会生活とのかかわりを各施設で学ぶのが目標である。

【授業の注意点】
 医療人としてのキャリア形成の観点から、演習見学中の私語や態度ならびに服装などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提としたマナーで見学に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の修得ができない。

評価基準＝ルーブリック					
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	企業の説明を完全に理解している。	企業の説明を大体理解している	企業の説明を部分的に理解している。	企業の説明についての理解がやや不足している。	企業の説明を理解していない。
到達目標 B	様々な業種について完全に理解している。	様々な業種について大体理解している	様々な業種について部分的に理解している。	様々な業種についての理解がやや不足している。	様々な業種について理解していない。
到達目標 C	催事の運営について完全に理解している。	催事の運営について大体理解している	催事の運営について部分的に理解している。	催事の運営についての理解がやや不足している。	催事の運営について理解していない。
到達目標 D	救命措置について完全に理解している。	救命措置について大体理解している	救命措置について部分的に理解している。	救命措置についての理解がやや不足している。	救命措置について理解していない。
到達目標 E	人体の構造と機能について完全に理解している。	人体の構造と機能について大体理解している	人体の構造と機能について部分的に理解している。	人体の構造と機能についての理解がやや不足している。	人体の構造と機能について理解していない。

【教科書】
 無し。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
 出席状況や課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

